

## おわりに

目の不自由な人は、ふと思いついたときに行きたい場所へ行くことができません。それには、目から入って来る情報を頼りに移動することができないからという問題があります。

目が見えないからという理由で、移動するときに危険な目にあたり、行きたい場所に行けないということは、目の不自由な人の安全と自由が無くなってしまふことになります。

移動のときに、目から入って来る情報以外で、目の不自由な人の移動を助けているのが、この本の中で紹介してきた機器です。音や指先、足の裏の感覚が、皆さんが目から得る情報と同じ情報を目の不自由な人に伝えられるように、多くの方が協力して、点字ブック、点字案内板、音声案内装置などといった目の不自由な人の歩行を助けるための機器が作られてきました。これらの機器は、皆さんと目の不自由な人が協力することによって、より素晴らしいものになり、機器としての役割を十分に果たすことができます。そのためにも皆さんが目目の不自由な人の移動のための機器の理解をしてくれるようお願いしています。

